
□2022 年度活動方針

みんなの会は、2001年に発足以来、レクリエーションバレーボール（レクバレー）の発展のため「誰もがレクバレーを身近に楽しむことができる環境をつくろう」という熱い思いが、受け継がれて現在に至っています。

私たちの思いは、2011年6月に制定されたスポーツ基本法の理念『スポーツは地域において身近に親しむことができるようにするとともに、全ての世代の人々の交流が促進され、地域間の交流の基盤が形成されるものとなるよう推進されなければならない。』にも通ずるものです。この思いを次世代のみなさんに継承し、みんなの会の更なる発展を目指します。

新型コロナウイルス感染症の影響で、この2年間はみんなの会の大会を開催することができず、チームにおいても活動自粛等からみんなの会の登録チーム数も減少しました。以前のように気兼ねなく多くのチームでレクバレーが楽しめる日が来ることを切に願い、コロナ禍におけるみんなの会の運営に取り組みます。

今年度の主な活動は以下の2点とします。

- ① 生涯スポーツとしてのレクバレーの発展のために寄与します。
- ② コロナ禍において選手・スタッフが安全で安心できる大会運営に努めます。

□2022 年度活動計画

○大会等の開催および運用について

1 大会等の開催について

今年度は、交流会（前期）、ブロック別大会（後期）の開催を予定します。

ただし、新型コロナウイルス感染の影響により、大会等を中止または内容変更する場合があります。

2 ブロック体制について

32チームを1ブロックとし、A～Gの7ブロック体制とします。大会結果によるブロック移動は8チームを基準に行います。（大会欠場のチームは移動の対象になります。）

新規参加チームは、Gブロックに属します。なお、Gブロックが48チーム以上に至った場合は、Hブロックを新設します。

3 参加資格について

以下の条件を満たしてください。

- (1) みんなの会の趣旨に賛同すること。
- (2) チーム登録表（チーム名、代表者）を提出し、年会費を支払うこと。
- (3) 登録期間は、4月～翌年3月までの1年間とします。ただし、継続して登録する場合は登録票提出の必要はありません。
- (4) 総会・代表者会議・抽選会等の会議に必ず出席すること。
- (5) 名古屋市スポーツ、レクリエーション情報システムのカードの登録番号を1チーム10名以上提出すること。ただし、初めて参加するチームは出場3大会目から適用します。

4 大会の抽選会について

抽選会に欠席したチームは理由の如何を問わず大会欠場としブロック移動します。

ただし、チーム関係者による代理抽選は可とし、他チームによる抽選は不可とします。

5 年会費及び大会参加費について

- (1) 年会費：2,000円 交流会参加費 3,000円 大会参加費：4,000円とします。

- (2)年会費はチーム登録を抹消した場合を除いて、納めていただく必要があります。
- (3)年会費を納めない場合は登録抹消になります。従って、新たに登録した場合は、新規チームとして取り扱います。
- (4)各チームは参加費を支払い、支払わないチームは大会等に参加できません。抽選会翌日以降に試合出場をキャンセルしたチームには、原則参加費の返納は行いません。

6 背番号について

前年度と同様に次のとおり定めます。

- (1)番号 : 0~99 番
- (2)色・形 : 明確に判別することができる色、文字体
- (3)サイズ : 背中の中央に、15cm 四方以上、字幅 2cm 以上

※ビブスゼッケンおよび布ゼッケン等での対応でも可能

7 大会等参加者名簿について

- (1)大会等毎に大会等日の受付時に大会等参加名簿を提出すること。
- (2)大会参加者名簿の各項目（背番号、氏名、性別、年齢、副審・線審担当・スポレク登録等）を漏れなく記入のこと。
- (3)スポレク(名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システム)の欄は、既に登録済みの方(他団体を含む)は「済」に、未登録の方は「未」にマル印(○)をつけてください。
- (4)新規チームに限って、副審、線審の適任者がいない場合は本部に申し出てください。
- (5)大会参加者名簿は、チームメンバーの登録ではなく、参加者の提示に過ぎません。

8 促進ルールについて

会場借用終了時刻までに大会が終了しない恐れがある場合は、促進ルールを適用します。

9 試合球について

大会試合球はミカサ [V400W] を使用します。

○審判の活動について

1 主審について

審判運営委員会と連携し、審判組織をさらに強化するとともに、審判技能向上を目指します。

審判員については、ブロックを問わず、随時募集します。

チーム解散などで所属チームがなくなっても、本人の意思があれば継続して審判をお願いしていきます。

大会本番で主審を経験すること、また他の審判員の主審を見ることを、審判育成の一環として位置づけま

す。

2 審判講習会について

新たに作成した「みんなの会ルールブック」をもとに、審判講習会を大会前に開催します。

審判講習会の参加モデルチームは義務化とします。

3 副審・線審講習会

試合における公平・公正性の確保ができるよう副審・線審講習会を実施します。

大会時に、審判チームとして副審・線審・スコアラーに就かれたチームで、その役割に問題があったチー

ムに対し、大会前の副審・線審講習会への参加を義務化します。

4 審判運営委員会を引き続き行います。

○行政の後援について

今年度も継続して、愛知県、名古屋市、名古屋市教育委員会の後援名義使用承認のための申請を行い、みんなの会の目的に沿った健全な大会を目指します。

○大会会場確保のための SC 登録等の協力について

名古屋市スポーツセンターの利用は、名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システムでの抽選申込を行い当選することで利用可能となります。近年、抽選申込数が増加し当選確率が非常に低い状況です。会場確保が困難のために、ブロック大会は、年3回から2回の大会開催になっています。会場がなければレクバレーの大会開催はできません。参加する選手の皆さんの協力があってこそ大会開催が実現できます。

10名以上の登録をいただいているチームの皆さんも更に追加をお願いします。みんなの会に参加する選手に限らず、家族や友人知人等、中学生以上の方であれば居住地に関係なく「名古屋市スポーツ・レクリエーション情報システム」の利用登録が可能です。また、会場確保のために、名古屋市スポーツセンター以外の体育館や企業の体育館の利用について情報提供をお願いします。今後、会場確保がより困難になっていくことが予想されますので、更なる登録を大会会場等で呼びかけます。

○ホームページの活用について

前年度と同様にホームページを活用し、親しみやすいホームページにするよう努めます。

○広報活動について

「みんなの会 参加チーム募集中」のポスターを全ての名古屋市スポーツセンターに掲示しさらに参加チームを募集していきます。また、ホームページでも引き続き参加チームを募集していきます。

○連絡網について

1 総会・大会等の連絡について

チーム代表者への総会・抽選会案内、大会開催要項等の各種連絡は、経費・事務作業削減、迅速・確実な連絡を図るため、携帯やパソコンメールへ案内し、ホームページにて掲載内容を確認して頂くことにします。

※連絡不能防止のため、携帯・パソコンのアドレス変更および代表者変更時は、必ずみんなの会のホームページの「チーム登録情報変更連絡」にて必ず連絡ください。非常災害時の大会開催の可否連絡代表者の携帯メールへの送信とホームページのお知らせボードに掲載します。

○総会・会議等の開催について

「みんなの会」を運営するため、総会ははじめ代表者会議、世話人会等を開催します。

○その他

(1) 世話人および大会運営等のスタッフを随時募集します。

- (2) 技術の向上を目的としたチャレンジセミナーの開催を検討します。
 - (3) 「登録チーム名」を変更する場合は、事務手数料として、1,000円を徴収します。
 - (4) 「チーム代表者」と「登録チーム名」を同時に変更することはできません。
 - (5) 試合結果の記録確認のため、試合終了後両キャプテンは主審とスコアボードまで同行し、記載されたスコア内容に誤りがないかを確認後、スコアカードにサインをしてもらうことを継続します。
-
-